

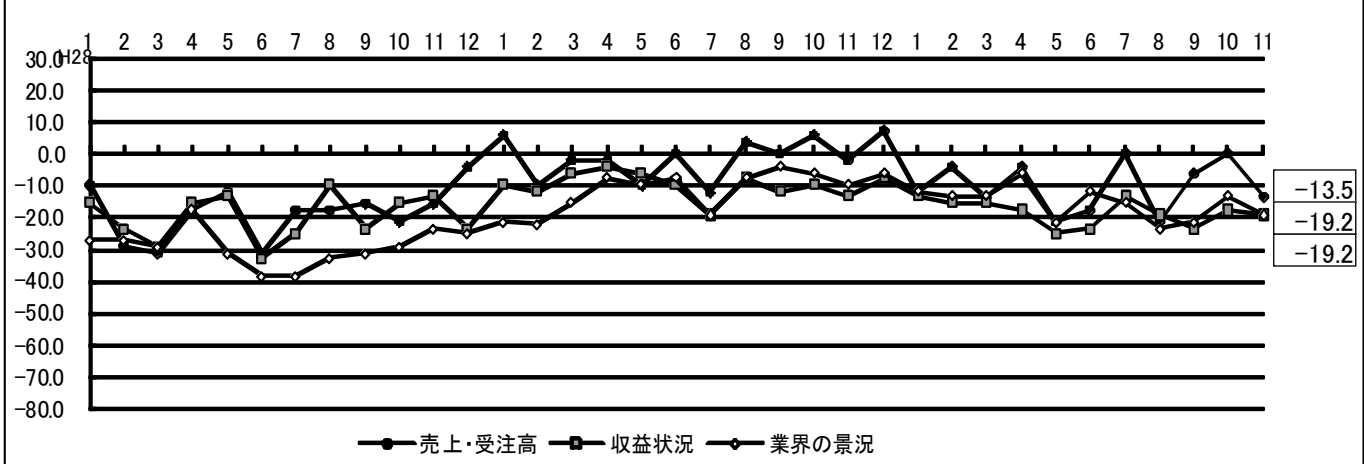
# 中小企業団体情報連絡員報告結果(平成30年11月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員5名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 11月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「在庫数量」「販売価格」「設備操業度」「雇用人員」の4指標が上昇し、「売上高」「取引条件」「収益状況」「業界の景況」4指標が下降した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より13.5ポイント下降し-13.5ポイント、「収益状況」が前月より1.9ポイント下降し-19.2ポイント、「業界の景況」が前月より5.7ポイント下降し-19.2ポイントであった。
- 11月は、「売上高」「収益状況」「業界の景況」の主要3指標がいずれも悪化している。例年に比べ、比較的暖かい日が続いたことが影響し、冬物商品の販売が低調となったこと等により、非製造業では多くの業種で売上高が下落するなど厳しい状況にある。また、全国的な傾向として、人手不足の慢性化並びに消費増税への対応を懸念する声も多く、中小企業の先行きは引き続き注視していく必要がある。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



| 主要3項目  | 県内    |       | 全国    |      |
|--------|-------|-------|-------|------|
|        | DI値   | 前月比   | DI値   | 前月比  |
| 売上・受注高 | -13.5 | -13.5 | -7.7  | -3.1 |
| 収益状況   | -19.2 | -1.9  | -17.7 | +1.3 |
| 業界の景況  | -19.2 | -5.7  | -17.6 | +0.3 |

## 売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月より13.5ポイント下降し-13.5ポイントとなった。全国においては、前月より3.1ポイント下降し-7.7ポイントとなった。

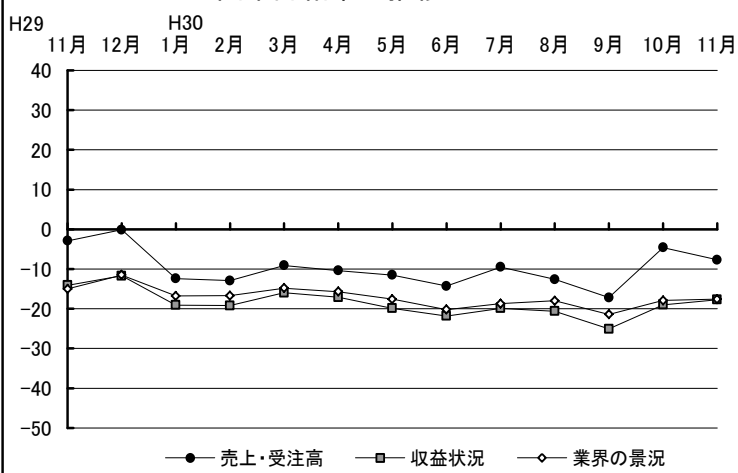
## 収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より1.9ポイント下降し-19.2ポイントとなった。全国においては、前月より1.3ポイント上昇し-17.7ポイントとなった。

## 業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より5.7ポイント下降し-19.2ポイントとなった。全国においては、前月より0.3ポイント上昇し-17.6ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概況-

11月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「在庫数量」「販売価格」「設備操業度」「雇用人員」の4指標が上昇し、「売上高」「取引条件」「収益状況」「業界の景況」4指標が下降した。主要3指標は、「売上高」が前月より13.5ポイント下降し-13.5ポイント、「収益状況」が前月より1.9ポイント下降し-19.2ポイント、「業界の景況」が前月より5.7ポイント下降し-19.2ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中1業種が上昇、非製造業で6業種中1業種が上昇、4業種が低下した。「収益状況」は製造業で7業種中3業種が上昇し、非製造業で6業種中3業種が低下した。「業界の景況」は製造業で7業種中1業種が上昇、1業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇し、3業種が低下した。

11月は、「売上高」「収益状況」「業界の景況」の主要3指標がいずれも悪化している。例年に比べ、比較的暖かい日が続いたことが影響し、冬物商品の販売が低調となったこと等により、非製造業では多くの業種で売上高が下落するなど厳しい状況にある。また、全国的な傾向として、人手不足の慢性化並びに消費増税への対応を懸念する声も多く、中小企業の先行きは引き続き注視していく必要がある。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

|        | 売上 | 在庫 | 価格 | 条件 | 収益 | 資金 | 設備 | 雇用 | 景況 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 食料品製造  | ×  | △  | △  | △  | ×  | ×  | △  | △  | ×  |
| 繊維・同製品 | ×  | △  | △  | ×  | ×  | ×  | △  | △  | △  |
| 木材・木製品 | ○  | △  | ○  | △  | △  | △  | ○  | △  | △  |
| 印刷     | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  |
| 窯業・土石  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  |
| 鉄鋼・金属  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  |
| 一般機器   | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  |
| 卸売業    | △  | △  | △  | △  | △  | △  | —  | △  | △  |
| 小売業    | ×  | △  | ○  | △  | △  | △  | —  | △  | ×  |
| サービス業  | △  | —  | △  | △  | ×  | △  | —  | △  | △  |
| 建設業    | △  | —  | △  | △  | △  | △  | —  | △  | △  |
| 運輸業    | △  | —  | △  | △  | △  | △  | —  | △  | △  |
| その他    | △  | —  | △  | △  | △  | △  | —  | △  | △  |

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

|        | 売上    | 在庫    | 価格    | 条件    | 収益    | 資金    | 設備    | 雇用    | 景況    |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 食料品製造  | -75.0 | 25.0  | 0.0   | -25.0 | -50.0 | -50.0 | 0.0   | 0.0   | -50.0 |
| 繊維・同製品 | -50.0 | -25.0 | -25.0 | -50.0 | -50.0 | -50.0 | -25.0 | 0.0   | -25.0 |
| 木材・木製品 | 75.0  | 25.0  | 50.0  | 0.0   | 25.0  | 25.0  | 50.0  | -25.0 | 0.0   |
| 印刷     | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 窯業・土石  | -25.0 | -25.0 | 25.0  | 0.0   | -25.0 | 0.0   | -25.0 | 0.0   | 0.0   |
| 鉄鋼・金属  | 0.0   | -25.0 | 0.0   | 0.0   | -25.0 | 0.0   | 0.0   | 0.0   | -25.0 |
| 一般機器   | 25.0  | 25.0  | 0.0   | 0.0   | 25.0  | 25.0  | 25.0  | 0.0   | 0.0   |
| 製造業    | -8.0  | 0.0   | 8.0   | -12.0 | -16.0 | -8.0  | 4.0   | -4.0  | -16.0 |
| 卸売業    | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |       | 0.0   | 0.0   |
| 小売業    | -42.9 | -28.6 | 42.9  | -28.6 | -28.6 | -14.3 |       | 0.0   | -57.1 |
| サービス業  | -16.7 |       | 0.0   | -16.7 | -50.0 | -33.3 |       | 0.0   | -33.3 |
| 建設業    | -20.0 |       | 0.0   | 0.0   | -20.0 | 0.0   |       | 0.0   | 0.0   |
| 運輸業    | 0.0   |       | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |       | 0.0   | 0.0   |
| その他    | 0.0   |       | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |       | 0.0   | 0.0   |
| 非製造業   | -18.5 | -20.0 | 11.1  | -11.1 | -22.2 | -11.1 |       | 0.0   | -22.2 |
| 全体     | -13.5 | -5.7  | 9.6   | -11.5 | -19.2 | -9.6  | 4.0   | -1.9  | -19.2 |

図表3～【指標別DI値の推移】

|       | 29年<br>11月 | 12月  | 30年<br>1月 | 2月    | 3月    | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 前月<br>比 |
|-------|------------|------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 売上高   | -1.9       | 7.7  | -11.5     | -3.8  | -13.5 | -3.8  | -21.2 | -17.3 | 0.0   | -21.2 | -5.8  | 0.0   | -13.5 | -13.5   |
| 在庫数量  | -17.1      | -2.9 | -28.6     | -20.0 | -14.3 | -14.3 | -14.3 | -11.4 | -2.9  | -11.4 | -2.9  | -17.1 | -5.7  | 11.4    |
| 販売価格  | -1.9       | 3.8  | 1.9       | 7.7   | 5.8   | 3.8   | 9.6   | 11.5  | 11.5  | 7.7   | 3.8   | 3.8   | 9.6   | 5.8     |
| 取引条件  | -5.8       | -3.8 | -3.8      | -1.9  | -3.8  | -3.8  | -5.8  | -3.8  | -3.8  | -3.8  | -3.8  | -5.8  | -11.5 | -5.7    |
| 収益状況  | -13.5      | -7.7 | -13.5     | -15.4 | -15.4 | -17.3 | -25.0 | -23.1 | -13.5 | -19.2 | -23.1 | -17.3 | -19.2 | -1.9    |
| 資金繰り  | -7.7       | -7.7 | -11.5     | -9.6  | -9.6  | -9.6  | -15.4 | -9.6  | -5.8  | -11.5 | -11.5 | -9.6  | -9.6  | 0.0     |
| 設備操業度 | 20.0       | 8.0  | -16.0     | 8.0   | -4.0  | -8.0  | -12.0 | -12.0 | -4.0  | -12.0 | -12.0 | 0.0   | 4.0   | 4.0     |
| 雇用人員  | 1.9        | 0.0  | 3.8       | 0.0   | -5.8  | 1.9   | 0.0   | -1.9  | -5.8  | -7.7  | 1.9   | -3.8  | -1.9  | 1.9     |
| 業界の景況 | -9.6       | -5.8 | -11.5     | -13.5 | -13.5 | -5.8  | -21.2 | -11.5 | -15.4 | -23.1 | -21.2 | -13.5 | -19.2 | -5.7    |

図表4～【前月DI値差】

|        | 売上    | 在庫    | 価格    | 条件    | 収益    | 資金    | 設備    | 雇用    | 景況    |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 食料品製造  | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 25.0  | 0.0   | 25.0  | 0.0   | 25.0  |
| 繊維・同製品 | 0.0   | 25.0  | 0.0   | -25.0 | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 木材・木製品 | 0.0   | 50.0  | 25.0  | 0.0   | 25.0  | 25.0  | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 印刷     | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| 窯業・土石  | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | -25.0 | 0.0   | 0.0   |
| 鉄鋼・金属  | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | -25.0 |
| 一般機器   | 25.0  | 50.0  | 0.0   | 0.0   | 25.0  | 50.0  | 25.0  | 0.0   | 0.0   |
| 製造業    | 0.0   | 20.0  | 4.0   | -4.0  | 12.0  | 8.0   | 4.0   | 0.0   | 0.0   |
| 卸売業    | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |       | 0.0   | 57.1  |
| 小売業    | -28.6 | -14.3 | 28.6  | -14.3 | -14.3 | 0.0   |       | 0.0   | -57.1 |
| サービス業  | -33.4 |       | 0.0   | -16.7 | 0.0   | -16.6 |       | -16.7 | -33.3 |
| 建設業    | -40.0 |       | 0.0   | 0.0   | -40.0 | 0.0   |       | 0.0   | 0.0   |
| 運輸業    | -50.0 |       | 0.0   | 0.0   | -25.0 | 0.0   |       | 0.0   | -25.0 |
| その他    | 50.0  |       | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |       | 0.0   | 0.0   |
| 非製造業   | -25.9 |       | -10.0 | 7.4   | -7.4  | -14.8 |       | -7.4  | 3.7   |
| 全体     | -13.5 | 11.4  | 5.8   | -5.7  | -1.9  | 0.0   | 4.0   | 1.9   | -5.7  |

## 特記事項

情報連絡員報告（平成30年11月分）

| 所属組合             | 特記事項   |
|------------------|--|
| 和洋菓子製造業          | 毎回報告している様に、我々の業界において、原料原産地表示・栄養成分表示・HACCP義務化、又、軽減税率の対応等、中小企業への負担が大きい。  |
| 縫製業              | 国内のアパレルのモノ作り現場は、輸入品が多くを占める国内市場の低迷と、メインの取引先であるアパレルメーカーの業績不振などの影響で、以前にも増して厳しい経営を余儀なくされている。衣服の輸入浸透率（数量ベース）は2017年に97.6%まで高まり、国内製造業の縮小傾向に歯止めが掛からなくなっている。  |
| 染色整理業            | 特に変化はなし。   |
| 網・網・レース・繊維粗製品製造業 | 来春向けの第一弾の納品が始まった。シーズンの滑り出しとしては、各社まずまずといった感じである。11月末に組合で都内展示会に出展してきた。例年出展しているが、昨年よりも来場者数は若干少なく、物足りない結果となった。   |
| 一般製材業            | 前年の11月の数字が非常に悪かったので、今期は増加傾向にあるが、この状況が今後維持できる見通しは難しい。12月は現在のところ、加工予定は順調に進んでいる。  |
| 印刷業              | ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりはない。   |
| 石灰製造業            | 鉄鋼関係は前年並み、肥料関係は夏場に減少した分、若干上向きにきている。建材土質関係は地域によってばらつきがあるが、平均して昨年並みに推移している。  |
| 金属製品製造業          | 自動車部品関連、機械設備関連、工作機械関連、プレス金型関連、半導体関連いずれも横這い。  |
| 一般機械器具製造業        | 30年11月の報告は、前年同月と比較し全般的に不変という結果となった。受注量は好転の兆しがあるものの前年同様。また、仕入単価は上昇傾向が継続中であり懸念材料が続いている。なお、相変わらず人手不足も継続中である。  |
| 一般機械器具製造業        | 全体的に変わらない状況が続いている。その為、若干上昇したり下降したりの連続である。起爆剤的政策がないため、明らかな変化は発生していない。   |
| 各種商品卸売業          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・団地内企業は、前月に続き概ね不変又はやや増加・好転とする企業が多い。</li> <li>・団地内企業従業員も増え、共同駐車場もほぼ満車状態が続いている。</li> <li>○産業用ガス卸販売業<br/>製造業の好調な動きから、前年同期比は売上高等増加となっている。</li> <li>○機械器具卸売業<br/>取引先である製造業界は安定した状況が続いており、自社の企業努力と相まって前年同期比売上高等増加となっている。</li> </ul> |
| 食肉小売業            | 購買意欲が少なく、消費が落ち込んでいる。気候が温暖で、家畜の育ちが良く、荷余りで相場も下がっている。   |
| 各種商品小売業          | 低調な11月期であった。地方の小売業は全体的に冷えこみ、寂しい月であった。年末に期待している。  |
| 各種商品小売業          | 11月上旬に行われた「お客様特別招待会」が前年を大幅に割ってしまった結果、月全体を通じて前年を上回ることなく着地してしまった。今年は暖冬と予想されており、冬物セールの動きが鈍いと考えられる。セール以外の集客に繋がるイベントを何か打ち出し、売上の底上を図りたい。   |
| 花・植木小売業          | 今年は気温が高めだった為に花の生育が早く、昨年と比べ入荷量は1割ほど多く、単価は15~20%の安値での市況推移となった。しかし、菊については夏菊から冬菊への切り替わりの時期で、入荷が極端に少ない日があり、仕入れに苦労した組合員が多かった。  |
| 理容業              | 高齢者の廃業による組合脱退が増加する中、若手組合員の組合離れも目立ってきている。組合加入のメリットを感じられない等が大きな理由との事のため、今後の対応策を課題として行く。  |
| 自動車整備業           | 微増ではあるが、売上高の増加が見られた。   |

|              |  |
|--------------|--|
| 旅館・ホテル       | 宿泊の客室稼働率に関してはここ数年のトレンドのまま全体的に上昇していたが、2018年になってからの7ヶ月間に関し少し停滞感がある。11月も10月に続き、市内宿泊はトップシーズンとなり、大型イベントから学会までコンベンションも多く高稼働であった。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門は多様化しており、ホテル利用が全てではなくなっている。飲食店利用に関しては、10月半ば過ぎからはお祝い事などが増え、やっと賑わいが戻り始めた感がある。 |
| ビルメンテナンス業    | 事業収入が減少する中で、人件費・外注費が増加する傾向は変わらず、収益が悪化している。   |
| 給食センター       | 売上高は、産業弁当の食数減等により減少となった。米や野菜等の食材や燃料の値上げにより、厳しい状況ではあるが、新規の得意先の開拓・新商品の開発・コストダウンにより、収益を改善する。  |
| 管工事業         | 雇用人員は不変であるが、若年・中堅の技能者・技術者の不足が進行しており、将来の人材確保や技能・技術の伝承が懸念される。  |
| 内装工事業        | 栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは11%減、敷物用ラベルは6%減、壁装用ラベルは15%減であった。カーテン用・敷物用・壁装用ラベル全て減少であった。ラベルの支給（売上）金額は前年同期4月～11月累計では21%増であった。   |
| 一般貨物自動車運送業   | 労働力不足が一層深刻化する運送業界で、年末繁忙期に向かい輸送効率向上に迫られているが、受注制限が予想される厳しい業況である。燃料価格は前月比6円程度値下げとなり、さらに再値下げ情報もあり、繁忙期にコスト削減になることを期待している。   |
| 貨物軽自動車運送業    | 11月の前半～中旬にかけては、動きが鈍く、依頼数も昨年に比べて減少した。中旬～後半にかけて、食品関連の仕事や、建築資材や自動車部品などの配送依頼で配車が追い付かない日もあったが、全体的にみると、減少傾向であった。   |
| 一般乗用旅客自動車運送業 | 前年同月比で、1台当たりの営業収入が少し上がっている。繁華街の人通りも増えているように見受けられる。   |
| 大谷石採石業       | 前年同比でほぼ同じであった。学校関係からの大谷石堀の問い合わせや、見積り依頼が多く、大阪での地震による大谷石堀の影響が出てきた。   |